

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会議事概要
(平成29年度第1回)

○開催日時 : 平成29年6月8日(月) 15時20分～16時10分

○開催場所 : 三田共用会議所

○出席委員

委員長 山口 卓男 弁護士
委員 桑野 玲子 東京大学 生産技術研究所 教授
委員 田中 仁 東北大学 大学院工学研究科教授、副研究科長
宮崎 哲 公認会計士

(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 平成28年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス報告書について

【主な質問及び回答】

交流研究員が業務に従事するに際して、情報の機密保持に関して、例えば契約書とか誓約書等を交わしているのか。	業務に従事する際に機密保持についての記載を含む誓約書を徴している。
推進計画どおりに取り組んだ結果どういふ効果があったのか、PDCAサイクルに基づいて点検することで、例えば「軽微なものはあったにしても、重大な違反事例はなかった」など、効果が客観的に見えてくるのではないのか。	効果の測定やPDCAサイクルを念頭にした点検については、ご指摘を踏まえ、具体的な検証方法等を検討していきたい。
実施状況に「自習講習」とあるのは具体的にどういうものなのか。	職員啓発のために新しく教材を作成、イントラに保管し、各自に読むように促すことで、講習の実を上げるようにしている。

【各委員からの主な意見】

- 平成28年度の実施状況報告書について、コンプライアンスの取組は着実に進んでいると考えるが、事前の予防と事後の内部点検を両面で検討すれば更に効果的と思われる。

(2) 平成29年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画について

【主な質問及び回答】

ハラスメントに関しては、推進計画の範囲であるという認識でよいか。 また、セクハラ相談事案はあるか。	推進計画とは別に、ハラスメントに関する研修を行っている。 また、相談窓口としてセクハラ相談員等(所内職員)を設けている。なお、セクハラ相談は、ここ数年間事例はない。
研究所に外国人はいるのか。日本語のみで所員全員に情報が100%伝わるのか。	過去には在籍していたが、現在はいない。

【各委員からの主な意見】

- 取組みについて、毎年、工夫と進歩の跡が認められるが、マンネリに陥ることなく、常に時代の変化に応じた見直しを行っていくなど、意識を先鋭にして取り組んでもらいたい。
- 今まで、重大事案が起きていないからといって安心せず、常に緊張感を持って対応していくことが肝要である。